

自然災害フォーラム 九大2011

—最近の突発災害における経験と教訓、将来に向けて—



九州は我が国でも自然災害の多い地域の一つである。奄美地方の豪雨災害や新燃岳の火山噴火など、毎年のように甚大な被害をもたらしている。どうすれば災害は防げるのか？ 昨年の奄美地方の豪雨災害や過去の突発災害における経験と教訓をもとに、九州地域における災害を撲滅するために何をすべきか、将来に向けて考える。

PROGRAM

1. 開会の挨拶 司会: 善 功企 / 九州大学教授 13:00-
落合 英俊 / 九州大学理事・副学長
2. 基調講演 司会: 陳 光斉 / 九州大学准教授 13:05-
○九州における最近の災害と九大の取り組み
(善 功企 / 九州大学教授・西部地区自然災害資料センター長)
○地球温暖化の影響と適応～防災・環境の視点から～
(小松 利光 / 九州大学教授)
3. 九州大学「奄美大島豪雨災害調査」報告 司会: 安福 規之 / 九州大学教授 13:55-
土砂災害に関する調査報告
○その1 気象変動に起因した土砂災害の特徴 (笠間 清伸 / 九州大学助教)
○その2 土砂災害対策工の有効性に関する検証 (陳 光斉 / 九州大学准教授)
河川災害に関する調査報告
○住用川流域の洪水と住民行動に関する調査報告 (田井 明 / 九州大学特任助教)
環境災害に関する調査報告
○その1 河口域・沿岸の環境保全を指標とした流域災害リスクの検討 (清野 聡子 / 九州大学准教授)
○その2 河川環境と水害 (大槻順朗 / 九州大学・日本学術振興会特別研究員) 休憩(15分)
4. パネルディスカッション コーディネーター: 島谷 幸宏 / 九州大学教授 15:40-
パネリスト: (産) 溝辺 哲 / 九州電力取締役常務執行役員 (官) 藤巻 浩之 / 九州地方整備局企画調整官
(学) 安福 規之 / 九州大学教授 (民) 角銅 久美子 / いてもたってもおら連隊
テーマ : ①奄美大島豪雨災害の特徴と教訓
②この経験・教訓をどうかすか？
5. 閉会の挨拶 17:00
善 功企 / 九州大学教授・西部地区自然災害資料センター長

主催 九州大学工学部 西部地区自然災害資料センター

後援 土木学会、地盤工学会、応用生態工学会、福岡県、福岡市、国土交通省九州地方整備局
(社) 国立大学協会九州地区支部会議・防災環境ネットワーク部会
*土木学会のCPDとして認定

フォーラム実行委員会 委員長: 善功企 / 九州大学教授・西部地区自然災害資料センター長 幹事長: 陳光斉 / 九州大学准教授・西部地区自然災害資料センター副センター長
幹事: 清野聡子 / 九州大学准教授 笠間清伸 / 九州大学助教 押川英夫 / 九州大学助教
田井明 / 九州大学特任助教 荒木功平 / 九州大学特別研究員 大槻順朗 / 九州大学・日本学術振興会特別研究員



参加無料

ACCESS

<http://www.biomed.kyushu-u.ac.jp/access.html>

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1 TEL: 092-641-1151 (代表)
お問い合わせ (陳 光斉) TEL: 092-802-3386